

2026.8.1

第178号



○いたくら 議会だより



東小学校 6年生 役場見学

今月の主な内容

- 6月定例会議案審議・補正予算審査 P. 2
- 一般質問（6人） P. 4
- 議員定数条例改正・議員報酬見直しの要望 P. 8
- 委員会行政視察レポート・議会日誌 P. 9
- みんなの声・編集委員の声 P. 10

板倉町議会ホームページへ

QRコードを読み込むと
議会ホームページが開けます





令和8年第2回定例会が、6月9日(火)から6月12日(金)までの4日間の日程で開催されました。今回の定例会では、人事案件11件、報告3件、承認2件、条例の一部改正議案4件、令和8年度補正予算議案2件、議員発議1件の報告を除く合計20議案が審議されました。

条例の一部改正議案、令和8年度補正予算議案など全20議案を審議

板倉町議会議員定数条例改正案を可決 一般会計・特別会計の補正予算を可決 一般質問に6人の議員が登壇

人事案件

◆板倉町農業委員会委員の任命について

令和8年7月19日の任期満了に伴い、次の方々を任命することに同意しました。
根岸幸子さん(大字西岡新田)、青木繁雄さん(大字大曲)、松本浩幸さん(大字初谷)、野村小百合さん(大字岩田)、田部井昭盛さん(大

報告

◆令和7年度板倉町土地開発公社決算及び事業報告について

板倉町が出資している板倉町土地開発公社の経営状況について、地方自治法の規定により、議会に報告するものです。令和7年度の主な事業は、板倉ゴルフ場に係る地権者の連絡調整及び代替地の水利費補償等を実施しました。決算は、収入が1万3,454円に対し、支出が5万8,140円で

あり、4万4,686円の損失でした。

◆令和8年度板倉町土地開発公社予算及び事業計画について

令和8年度の主な事業計画は、板倉ゴルフ場に係る地権者の用地調整業務です。予算の概要は、収入が29万4千円、支出が25万4千円を見込んでいます。支出は、用地調整業務の費用及び法人税等の経費が主なもので、収入は、群馬県企業局からの用地調整業務に関する収入及び預金利息が主なものです。

承認議案

◆専決処分事項の承認について(板倉町税条例の一部を改正する条例)

承認議案

令和8年度税制改正により、地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律が4月1日から施行されたことに伴い、本条例に所要の改正を行う必要が生じたため、地方自治法の規定により、3月31日付けで専決処分を行ったものです。改正内容は、令和7年度末をもって環境性能割を廃止することに伴い、現行の「軽自動車税種別割」を「軽自動車税」とするなど、所要の措置を講ずるものです。

◆専決処分事項の承認について(板倉町国民健康保険条例の一部を改正する条例)

令和8年度税制改正により、地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金



令和8年4月の板倉町行政組織改編に関連した所要の条例改正を行うものです。本条例は、令和7年12月定例会においてご承認いただきましたが、その後の組織改編に向けた細部の検討・調整により、地域創生課と建設課の間で事務分掌の異

万6千円を追加し、歳入歳

です。

歳出の会計年度任用職員
経費2人分、623万2千
円の追加について、この人
件費の1人分はすでに4月
に発生しているということ
で支払い済みだと思うが、
補正予算を組む前にどのよ
うに処理をしているのか。

本来であれば、補正予算をご承認いただいてから支払うのが大前提だと認識しています。人事異動が生じ

たときは、その人の1年分の人件費は確保できていない状況ですが、4月と5月分の2カ月分分ですので、当初予算の範囲内で先に支払いをさせていただいているのが現状です。

◆補正予算については、6月10日の本会議において、全員一致で原案どおり可決となりました。

いたくらの



ココ

一般質問

を聞きたーん!

各議員の一般質問について、ダイジェスト版でお知らせします。

 本紙に掲載している質問事項です。

質問者（登壇順）	質問事項
 森田 義昭 議員	①中央公園等の整備、管理等について  ②地域活動支援センター及び障害者デイサービスセンターの運営状況について 
 青木 秀夫 議員	①地方教育委員会の権限について 
 尾澤 将樹 議員	①障がい者等に対する支援について ②公共施設再整備の方向性について 
 藪之本 佳奈子 議員	①小・中学校のトイレにおける生理用品の設置について ②算数セット等の学校備品化について ③災害時における生活用水確保のための井戸の活用について 
 青木 文雄 議員	①知名度向上の必要性和シティプロモーション戦略について  ②漢字検定受験料補助の導入について
 亀井 伝吉 議員	①定住対策（学生支援）について ②農地集積事業の計画について  ③町道2-41号線の拡幅整備について 



中央公園 池付近

町にステキな公園を整備
してもらいたい。

議員 今、中央公園の整備

が行われているが、どのようになっているのか。改修の内容についてお聞きしたい。外から見ると大きな木が大分切られているが、何のためなのか。中央公園はかなり前からあり、桜なども周りにある。桜は一本でも数本でも咲くとその場が大変明るくなり、ましてや下が芝でベンチひとつで立派な公園と呼べるのかなと思っている。その辺を踏まえて、どのような公園を目指しているのか考えをお聞きしたい。

建設課長

中央公園は古いが故に木が大きくなり、周リから見づらくなつて不審者とか子どもたちに不安を与える要因にもなっている。そういった不適切さを取り除くため、周りから見えやすくするのに木を伐採した。また内容については、公園づくりの業者とも話し合っている。

議員 当町の障がい者の活動についてお聞きしたい。

町長 障がい者の自立支援については、大変重要と受けとめている。何が一番いいのか、今何が必要なのか、常に考えていきたいと思っているので、皆さんの協力もお願いしたい。

森田義昭議員の
録画配信はコチラ



問 安全安心な公園づくりをお願いしたい。

答 子どもが遊べる場所として重要と考えている。

森田 義昭 議員



200以上の大学で漢字
の補習授業等を踏まえる
と「急がば回れ」では！



青木秀夫議員の
録画配信はコチラ



議員 「詰め込み教育」についての反省もあって、一時期「ゆとり教育」が導入され、実施された。その後、ゆとり教育の成果については、どのように評価されて、どのような結果となったのか。

議員 「不登校」「ひきこもり」「80・50問題」等が大きな社会問題となっている。それらの問題の原因の一つに「詰め込み教育」が考えられる。小学校における学習量の多さ、しかも学習内容の難しさから、理解できているのかと心配している。そのことについて、教育長の見解は。

教育長 学校における不登校児童生徒等について「詰め込み教育」が原因であったというような報告はない。不登校問題は「詰め込み教育」が原因であるとは考えていない。

問 ゆとり教育で「読み書き計算」の地道な学習を。

答 「分数のできない大学生」がいることは認識。

青木 秀夫 議員



小中学校や地区公民館の多くは、築50年。早く建て直してほしいな。



尾澤 将樹 議員

議員 小中学校や地区公民館の多くは、建築後おおむね50年が経過している。年々、物価高騰している経済情勢を鑑み、建て替えを含む再整備の方向性を伺いたい。

との長寿命化計画を策定し、管理運営を行っている。小中学校の耐震補強を完了させた上で、目標使用年数を80年と設定した。地区公民館も文化系・社会教育系施設長寿命化計画に基づき、学校教育施設と同様に目標使用年数を80年と設定して、長期的かつ有効な活用を目指している。

教育委員会事務局長 本町の学校教育施設及び社会教育施設の多くは、建築からおおむね50年経過して、老朽化が進んでいる。本町では、国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、平成29年3月に板倉町公共施設等総合管理計画を策定した。この計画に基づき、個別施設ご

町長 もし変えるのであれば、中央公民館のホールをある程度しっかりとしたものにする。図書館とまではないかという点でも、そういった図書館的な機能を持つものに建て替えはしたいと思っていますので、ちゃんと考えているということご理解いただきたい。



昭和53年に竣工した中央公民館

尾澤将樹議員の録画配信はコチラ



問 公民館の長寿命化とは、何年使用するのか？

答 目標使用年数を80年ということで設定する。

困る人を助けるだけでなく、困る人を減らせる町でありたい。



議員 災害時の生活用水確保に向け、登録井戸制度の導入をどのように考えているのか。また、町内の井戸を活用した体制づくりをどのように進めるのか。

総務課長 登録井戸制度は、地域住民が協力し合う共助の考え方による仕組みであり、災害時の生活用水確保に加え、地域における共助意識の向上にも有効なものと考えている。一方で、制度の導入に当たっては井戸所有者の理解と協力が不可欠であり、所有者に過度な負担や迷惑がからないような条件設定や運用方法を整理する必要がある。また、制度を運用するためには、協力可能な井戸の把握や登録方法、災害時における利用ルールなどについても検討が必要である。町内の井戸を活用した体制づくりについては、自助・共助を基本としながら、地域住民や井戸所有者の協力を得て進めていくことが重要であると考えている。登録井戸制度については、導入自治体の事例や運用状況を参考にしながら調査研究を進め、本町の実情に合った制度のあり方について研究していく。

藪之本佳奈子議員の録画配信はコチラ



問 災害時に備えて登録井戸制度を導入しては？

答 先進事例を参考に調査研究を進めたい。



藪之本佳奈子 議員



町の情報を発信する公式LINE

驚くほど板倉町は知られていない。町の魅力情報発信が必要ではないか。



青木 文雄 議員

議員 今、町の発展に問われているのは、選ばれる町になることであり、どれほど魅力があっても知られていなければ選択肢に入らない。町の知名度向上を戦略的に進める考えはないか。

秘書室長 町の発展には、情報発信力の強化による知名度、またイメージの向上は不可欠と考えている。町

公式LINEの運用が始まり、タイムリーな行政情報であるとか、生活情報の提供及び双向向サービスの構築に努めている。現状の課題は、情報が多い現代にお

ける受信者の関心度や熱量、また情報ツールの多様化にも対応しつつ、より効果的な情報発信、戦略の構築が必要と考えている。今後、町の新たな魅力と知名度、魅力の発掘、発信、そしてイメージ向上も含めて、戦略的かつ継続的な情報発信に努めることが重要と考えている。

議員 SNS、短い動画など、継続的な情報発信体制を強化する考えはないか。

秘書室長 今後、LINE運用の拡充ということを考えつつ、SNS動画の拡散を狙うという視点も非常に効果的と考えている。有効な手段として視野に入れないながら、その状況に応じて活用できればというふうに考えている。

青木文雄議員の録画配信はコチラ



問 もっと知名度向上の取組が必要ではないか。

答 戦略的な知名度向上の情報発信を推進する。

東西南北の幹線道路の整備は災害時に役立ち、車の通行もスムーズになる。



令和3年に行った現地調査の様子

議員 令和3年請願の町道2-41号線（東洋大学跡地西側）の道路拡幅計画の進捗状況について、伺いたい。

建設課長 中学生の通学安全確保等の地域要望、利根川、渡良瀬川への新橋構想の接続ルート、国道354号線からニュータウン産業団地、板倉工業団地へのアクセス道路、併せてニュータウン市街地への大型車両流入回避等を、担える重要な路線と位置づけている。群馬県道路整備アクションプログラムには板倉町が推進する地域の暮らしや、経

済活動を支えるインフラ整備事業として明記されている。事業着手に向け、まず国庫交付金の獲得を目指し、群馬県と協議、確認作業を進めている。

議員 地元の意向が必要だが、板倉工業団地周辺の農地集積事業の計画を検討しているのか伺いたい。

産業振興課長 東側の区域は、令和5年度に邑楽土地改良区が事業主体となり、国庫補助事業である農地耕作条件改善事業として、8.1ヘクタールのほ場事業を行った。南側の区域は、令和9年度以降、邑楽土地改良区が事業主体となり、約40ヘクタールのほ場整備を、国庫補助事業である農地耕作条件改善事業として行う予定になっている。

亀井伝吉議員の録画配信はコチラ



亀井 伝吉 議員

問 町道2-41号線の拡幅計画の進捗状況は？

答 事業着手に向け国庫交付金獲得を目指す！

議員定数を12人から11人に削減

令和8年6月定例会において、議員発議により提出された発議第1号「板倉町議会議員定数条例の一部を改正する条例について」が可決され、次回の町議会議員一般選挙(令和9年4月執行予定)から議員定数が11人に削減されることになりました。

議員間で議論

令和7年10月から議員間討議をととして見直しの検討を開始。



行政区長会が議会に要望書を提出

令和8年1月に行政区長会が「板倉町議会議員の定数削減を求める要望書」を提出。



条例改正案の提出

令和8年6月定例会に議員定数を削減する条例改正案を提出。



本会議での可決

本会議で条例改正案が可決。令和9年4月執行予定の一般選挙から11人となる。



【提案理由】

本案は、板倉町議会議員の定数を12人から11人に改め、次の板倉町議会議員一般選挙から施行することを提案するものです。全国自治体の議会においては、平成20年から長期にわたる全国的な人口減少を踏まえ、議員定数の削減は時代の流れとして避けられないものと捉える風潮があり、議員定数の見直しが議論されているところです。当町における人口の変遷を見ますと、議員定数を14人から12人に改めた平成23年4月には約15,800人であったのに対し、直近では約13,200人にまで減少しているほか、将来的にも逡減が見込まれています。このような状況を鑑み、当議会としても、令和7年10月から主体的に議員定数の見直しについての検討を始め、令和8年1月に板倉町行政区長会から提出された要望書の趣旨を真摯に受け止めつつ、慎重に議論を重ねて参りました。議員定数の見直しは、単なる人数の減少を目的とするものではなく、将来にわたって持続可能な議会として、より機能的かつ効率的な体制を構築するためのプロセスの一環であります。議会の存在意義や二元代表制の趣旨が損なわれることなく、議会運営の最適化を図ることこそ、町民の負託に応えるべき我々議員としての使命であるとの結論に至り、本案のとおり提案するものです。



令和8年6月12日、町議会は議員のなり手不足の解消と持続可能な議会運営に向け、「議員報酬の見直しを求める要望書」を町長へ提出しました。本町の議員報酬は約30年間据え置かれており、物価や賃金の上昇など社会情勢との乖離が生じています。若者や女性をはじめ、多様な人材が議会活動に参画しやすい環境を整え、議会機能の強化につなげるため、特別報酬等審議会において適正な議員報酬額への見直しを審議されるよう要望しました。

議員報酬の見直しに向けて特別報酬等審議会の開催を要望

議会日誌

5月

- 16日 利根川水系連合・総合水防演習
- 20日 館林衛生施設組合月出納検査
- 21日 全員協議会／議会運営委員会／議員のみ協議会
- 22日 総務文教福祉常任委員会行政視察（茨城県境町）
館林地区消防組合月出納検査
- 25日 群馬県町村議会議長会臨時総会／町村議会議長・事務局長研修会
- 26日 全国町村議会議長・副議長研修会
- 27日 館林衛生施設組合議会施設見学会

6月

- 7日 町民スポーツフェスティバル
- 9日 6月定例会（初日）
予算決算常任委員会
総務文教福祉常任委員会（所管事務調査）
産業建設生活常任委員会（所管事務調査）
- 10日 一般質問（6人）
- 13日 6月定例会（最終日）／議会運営委員会／議員のみ協議会／議会広報特別委員会
- 21日 板倉消防団ポンプ操法競技大会



7月

- 1日 議員のみ協議会
- 2日 東部水道企業団議会臨時会／全員協議会
- 3日 館林地区消防組合議会臨時会
- 7日 産業建設生活常任委員会行政視察（埼玉県幸手市）
- 12日 館林地区消防組合消防団ポンプ操法競技大会
- 13日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 14日 事務事業評価事業選定会議／議会広報特別委員会
- 17日 館林衛生施設組合決算審査及び例月出納検査
館林地区消防組合決算審査及び例月出納検査
- 21日 全員協議会／議員のみ協議会
- 22日 群馬県未来構想フォーラム

先進事例の調査・研究から政策提言に活かす！

委員会 行政視察 レポート

総務文教福祉常任委員会

茨城県境町：移住定住政策について



境町では、人口増加の要因を複数の施策を一体的に推進した結果だとしています。主な成功要因として、次の5点を挙げています。

- ・充実した子育て支援
- ・教育への大胆な投資
- ・家がもたらえる定住支援
- ・雇用と財源の確保
- ・ブランド化と情報発信

特に強調しているのは、令和6年度に人口が67人増加し、その背景には272人の社会増がありました。つまり、自然増ではなく、移住定住による社会増が人口増加の最大の要因と位置づけています。

産業建設生活常任委員会

埼玉県幸手市：産業団地拡張について



圏央道インターチェンジ（IC）を活用した企業誘致の取組を学びました。幸手市は、総合振興計画でIC周辺を工業系ゾーンに位置付け、県企業局との共同で約47ヘクタールの産業団地を整備し、ニトリ等13社が立地。地権者によるまちづくり協議会を早期に設立し、丁寧な合意形成を重ねた点が成功の鍵でした。本町も高速道路ICと接しており、県との連携や地権者との信頼構築を参考に、実効性のある土地利用と企業誘致を検討していきます。

気持ちよく
生活するために

しまだりゅうのすけ
島田龍之介さん
(板倉中学校3年)



自 然豊かな町、これが板倉町の魅力の一つだと思います。町内には大きな公園や川があり、学校への登下校でも街路樹が生い茂り、暑い夏の日には日陰を作ってくれます。しかし、生い茂りすぎるときがあり、それが車への死角となり、通学の際にひやっとする場面も見たことがあります。もっと早いスパンで剪定をしてもらえると、今以上に安全に通学できるように感じます。また、人の温かさを感じる場面もあります。僕は自らあいさつすることを心がけていますが、あいさつを返してくれる人が多く、僕も元気がもらえ、またあいさつしようという気持ちになります。板倉町がより一層自然を大切にし、人とのつながりを大切に、僕たちが大人になっても好きでいられる町が続いてくれることを望んでいます。

子どもたちのた
めになる施設を

のなかま ゆみ
野中真弓さん
(大字除川)



みんなの 声

私 は、板倉町に住んで13年が経ちました。地域の人たちは良い人ばかりで、毎日穏やかに過ごせています。しかし、子どもを育てている中で、もっと子どもが楽しめる施設や子どもが本に触れたり勉強ができる図書館があると、子どもの教育に良い影響を与えることができるのではないかと考えています。現在、児童館はありますが、そのほかにも子どもが様々な体験ができる施設があると、休日に楽しく過ごせると思います。そして、図書館は子どもだけではなく、大人にとっても充実した時間を過ごせる場所だと思います。そういった施設があって、町外の方も町を訪れてくれることで、町がもっと発展できるのではないかと考えています。こうした環境を整えることで、少しでも町が魅力的になり、子どもたちが生き生きと過ごせると嬉しいです。

編集委員の声

田植えを終えた田んぼに、若い苗の緑がそよぎ始めました。水を張った水面が空を映し、風の通り道になって板倉の夏を呼び込んでいます。学校では夏休みを心待ちにする子どもたちの声が聞こえ、地域の夏祭りやイベントの準備もあちこちで始まっている頃でしょう。畑の傍らで涼をとる高齢者の方、公民館で汗をかきながら準備をする役員の方々。それぞれの場所として、それぞれの季節の迎え方があります。町議会議員として、そうした一つ一つの営みに耳を傾け、板倉町らしい暮らしやすさを形にしていきたいと考えています。暑さに負けず、皆さんと共に板倉町の夏を楽しみたいと思います。

(議会広報特別委員 永田 亮記)

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます 議会傍聴

議会の本会議は、公開制となっています。会議当日、受付票に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。

◆9月議会定例会(予定)

- 会 期** 9月8日(火)～9月16日(水)
議 事 (1)条例改正などの議案審議・採決
(2)一般質問
(3)決算認定議案審議・採決

※会期等が変更となる場合もあります。

※詳しい日程等については、後日、議会のホームページでお知らせします。

お問い合わせ先

議会事務局 TEL.82-1111 (内線701)
TEL.82-6154 (直通)